

水没市街地フィールド
使用者手引き
(第2版)

福島ロボットテストフィールド
令和5年3月28日

改訂履歴

版	施行日	内容	作成
1	令和3年4月1日	新規作成	技術課 菊地 康仙
2	令和5年3月28日	新規フォーマットへの改定	技術課 佐藤 徳雄

目 次

1. 施設概要.....	1
1.1. 基本情報.....	1
1.2. 水没市街地フィールドの位置.....	3
1.2.1. 主要諸元.....	3
1.2.2. 主要設備.....	3
1.2.3. 写真.....	4
1.3. 使用事例.....	5
2. 施設詳細.....	6
2.1. 建設図面.....	6
2.2. 各種設備.....	9
3. 簡易計測室 A(隣接施設).....	10
4. 利用上の注意.....	10
5. その他.....	10

1. 施設概要

1.1. 基本情報

基本情報のリストを示す。

名称	水没市街地フィールド
エリア	水中・水上ロボットエリア（南相馬）
メーカー名	-
メーカー型番	-
導入年	2019年
仕様	
主要諸元	【屋外水槽】 ・ 50m × 19m × 水深0.7m うち10m × 10mは深さ5m 【水没住宅A】 ・ 1階部分一部冠水 ・ 建築面積53㎡ 【水没住宅B】 ・ 1階部分全部冠水 ・ 建築面積53㎡
飛行可能エリア	エリア内 高度~50m
施設に含まれる設備、機器	・ LAN・コンセント盤 ・ 電柱・電線
保存データの形式・アウトプット	-
事前に用意いただく必要のあるもの	-
使用に必要な免許・資格	-
利用上の注意	-

基本情報（続き）

貸出単位	1
貸出可能な数	1
使用料金	
1時間につき(昼間)	-
1月につき	-
全日	-
午前・午後	(建物含む) ¥14,900 (建物除く) ¥11,000
1時間につき(夜間)	-
夜間	(建物含む) ¥17,800 (建物除く) ¥13,020
超過(1時間につき)	(建物含む) ¥4,900 (建物除く) ¥3,600
問合せ先	福島ロボットテストフィールド 技術課 TEL0244-25-2476

備考

- (1) 使用単位の「午前」、「午後」、「夜間」、「全日」、「超過時間」は次のとおりです。
 - ◎午前：9時～13時
 - ◎午後：13時～17時
 - ◎夜間：17時～21時
 - ◎全日：0時～24時
 - ◎超過時間：0時～9時まで及び21時～24時までの間の1時間
- (2) 次のいずれかに該当する場合には、使用料と同額を加算します。
 - ①営利の目的で入場料、受講料、会費等を徴収して行事を開催するとき
 - ②商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為のために使用するとき
- (3) 準備のために使用する場合には、使用料を70%に減額します。
- (4) 日をまたいで2日以上継続使用する際、展示物や器材等の保管のためであれば、夜間～早朝の使用料は徴収しません。
- (5) 施設に含まれる設備、機器において(★)マークのついたものは、使用時に別途費用が発生します。詳細は対応する使用者手引きを参照ください。

1.2. 水没市街地フィールドの位置



水没市街地フィールドの位置

1.2.1. 主要諸元

- (1) 50m x 19m x 水深 0.7m の屋外水槽(うち 10m x 10m は深さ 5m)
- (2) 水没住宅 A / 建築面積 53 m² 一階部分一部冠水 ※住宅内に浸水はありません。
- (3) 水没住宅 B / 建築面積 53 m² 一階部分全部冠水 ※住宅内に浸水はありません。

1.2.2. 主要設備

- (1) LAN・コンセント盤
- (2) 電柱・電線

1.2.3. 写真



※水槽内の深くなっているエリア（水深5m）にはご注意ください。

水没市街地外観



水没住宅 A・水没住宅 B 外観

水没住宅 A



水没住宅 B



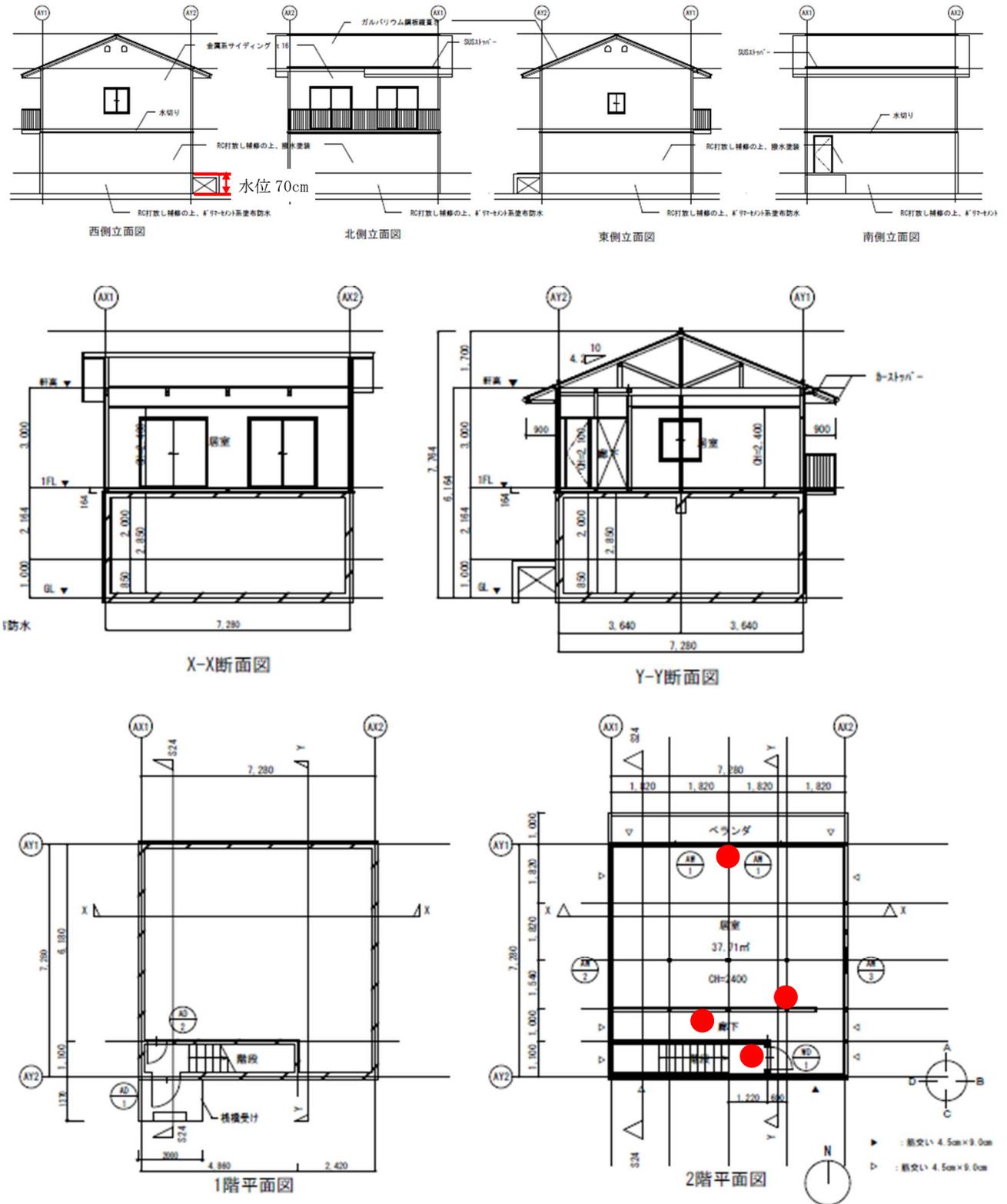
水没住宅 A・水没住宅 B 屋内

1.3. 使用事例

- ・ 情報収集・調査・探索・救助等を行う水上・水中ロボットの実証試験
- ・ 点検対象や障害物を水中に沈めての水上・水中ロボットの実証試験
- ・ ドローンを用いた測量等の実証実験
- ・ 有人ヘリ、ボート、及び水陸両用車による救助訓練
- ・ 衛星を用いた画像撮影等の実証試験
- ・ PR 動画やデモンストレーション動画の撮影

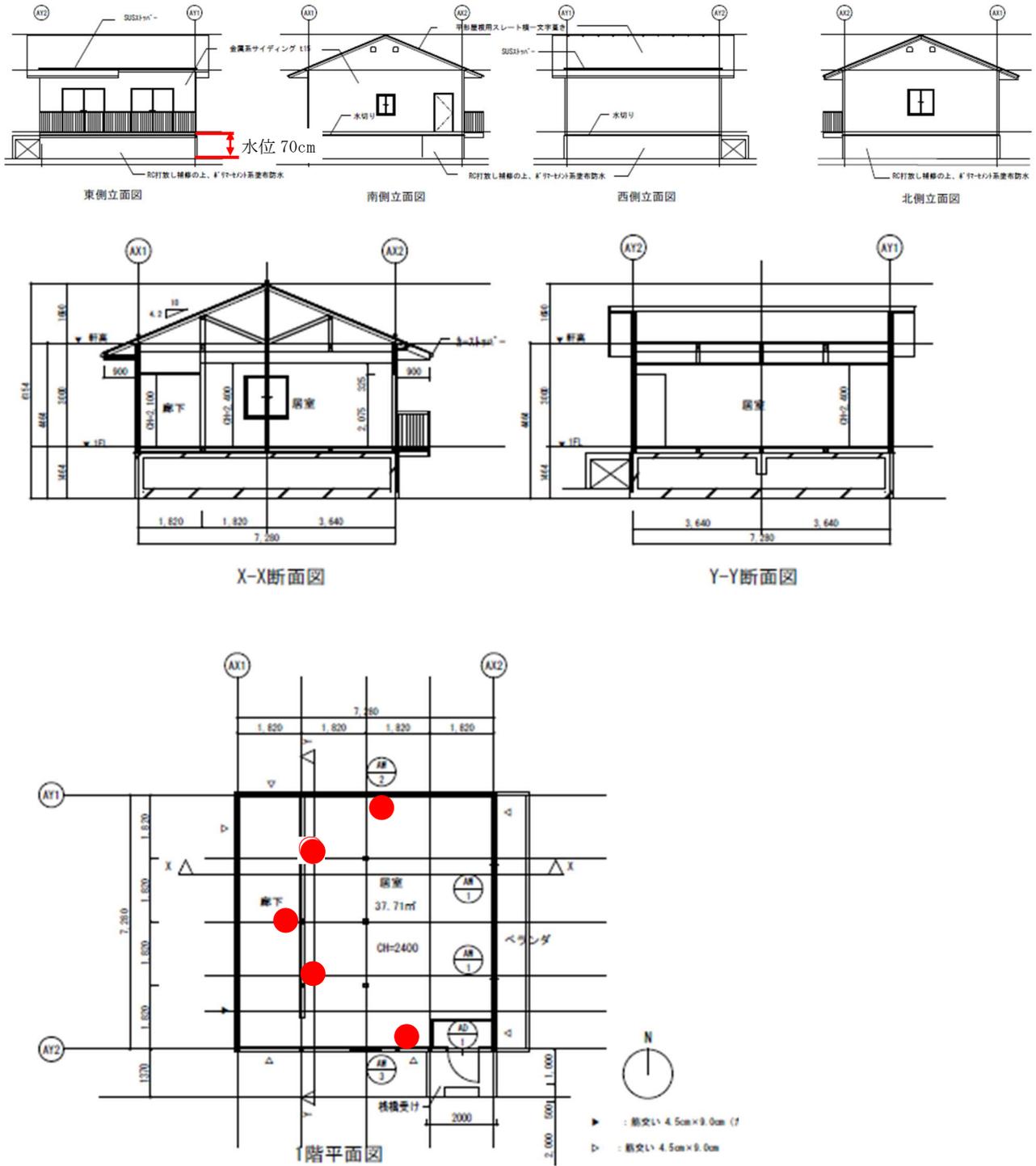
(3)水没住宅 A(立面図、断面図、1階平面図、2階平面図)

●:電源コンセント 100V 20A (2階)



(4)水没住宅 B(立面図、断面図、1階平面図)

●:電源コンセント位置 100V 20A (1階)



2.2. 各種設備

(1)LAN・コンセント盤

電源盤仕様：100V 20A

コンセント形状：接地付きコンセント 2口

位置：4か所

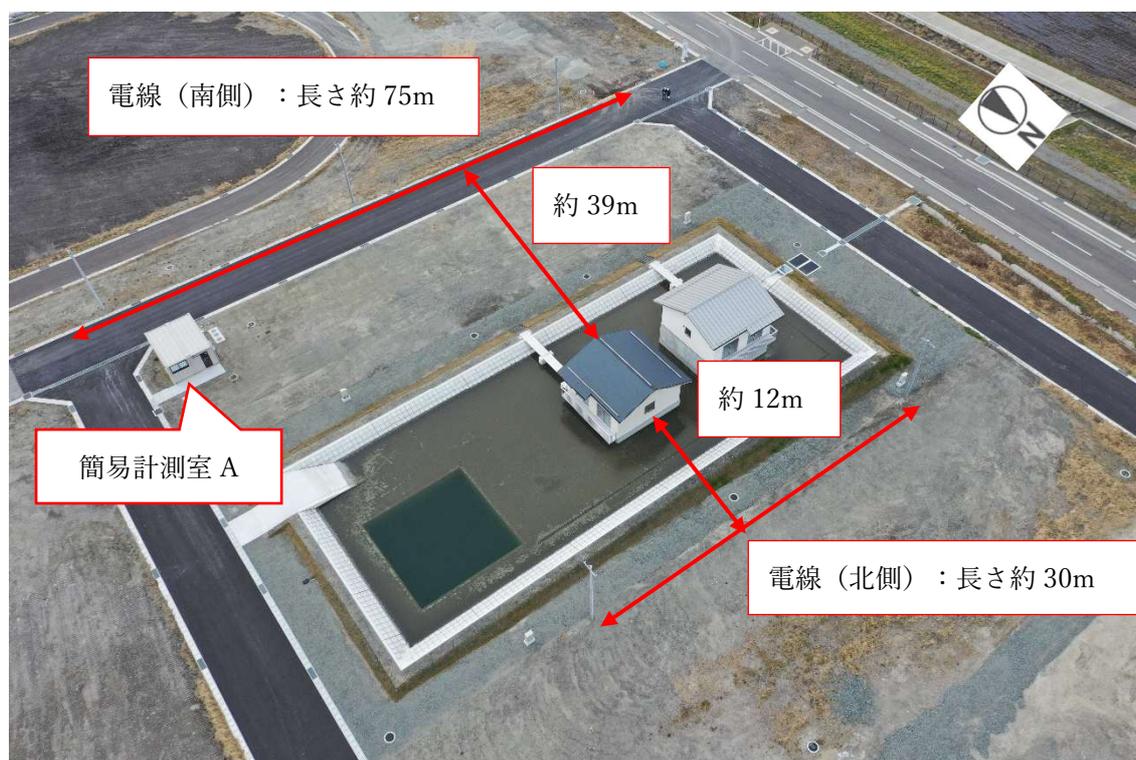


LAN・コンセント盤外観

(2)電線

水没市街地の北側と南側に各々電圧のかかっていない架空電線があり、点検の訓練等に使用できます。

(電柱高さ 8.30m、電線高さ 8.05m)



電線外観

3. 簡易計測室 A(隣接施設)

水没家屋(水没住宅 A、水没住宅 B)の内部には、エアコンや机、イス等の設置はありません。机・イスは貸出可能です。エアコン等がある屋内建屋の使用をご希望の場合は、隣接する簡易計測室 A を合わせて使用承認申請してください。

4. 利用上の注意

- (1)水没市街地の南側の架空電線を使用する場合には、周回路の使用者及び共用道路の通行等の事前調整が必要となります。使用相談等のときに技術課へ事前ご相談ください。
- (2)水槽内の水は消毒等の水質管理を行っていないため、原則として人の入水を禁止します。
- (3)水槽内に進入する際は、救命胴衣を着用してください。
救命胴衣は貸出可能です。救命胴衣は、屋内水槽棟と合わせて8着です。
- (4)ドローン等の無人航空機を運用する際は、飛行エリア内に監視員を配置し、周囲の安全に留意してください。
- (5)屋外水槽の水を抜く場合には、元の状態へ原状復帰するための水道代が別途かかります。
水を抜いたときの水道代の最大料金は 28 万円(801 m³の試算額 276,355 円 ※令和5年現在)になります。
- (6)水没市街地フィールドの使用中に「水没住宅の窓ガラスが破損するリスク」が事前に想定される場合には、窓ガラスを取り外して水没住宅内において、使用後には元へ戻して原状復帰してください。

5. その他

- (1)水没住宅への渡り板は、取り外し可能です。必要な工具は貸出可能です。使用後には渡り板をつけて、原状復帰してください。
- (2)机、イスは、福島ロボットテストフィールド備品に空きがある場合には貸出可能ですので、技術課にお問合せください。
- (3)水没市街地フィールド敷地内にある外灯は点灯可能です。点灯をご希望の場合には、技術課へお問合せください。
(外灯の点灯/消灯のスイッチは、簡易計測室 A 内にある電源盤にて行います。)

以上